

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 3 年 11 月 2 日 (17:30 ~19:00)

1. 初期支援 (はじめのかかわり)

メンバー 6 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)	分らない
①	前回の課題について取り組めましたか?	0 人	2 人	2 人	1 人	6 人	1

前回の改善計画	・利用開始後、小規模計画書の短期目標の期間で評価を行い、変更事項などを話し合う。
前回の改善計画に対する取組み結果	・サービス開始直後は短期目標の期間に関係なく、随時利用者の様子などを共有し、支援内容を話し合うことが出来た。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)	分らない
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	2	1	1	1	6	1
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	2	1	1	1	6	1
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか?	3	1	2	0	6	
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	3	1	1	0	6	1

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・利用開始前のミーティングで、ケアマネから利用者の情報やサービス利用の目的の報告があり、職員間で共有ができた。 ・利用者が、サービス内容や事業所に早くなじめるような声かけを行った。 ・初期支援のころは、ケアマネからの情報や家族の思いを傾聴し、適切に対応ができています。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・利用相談から利用開始までの期間が短い利用者の小規模計画書は、ケアマネから提示されることが遅くなり、ミーティングなどで支援内容の伝達を受けるだけでサービスを開始することがあった。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
・初期のころは利用者も不安があり、職員も配慮する点が多い為、より細かな情報が職員全員に行き届くように、「軒下マップ」の充実と、職員への連絡を行う。 初回居宅計画書は職員全員が確認できるよう、介護記録のファイルに整理する。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 3 年 11 月 2 日 (17:30 ~19:00)

2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)

メンバー 6 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	0 人	4 人	1 人	0 人	6 人

分
か
ら
な
い
1

前回の改善計画
・ミーティングでは、利用者が「したいこと」を達成するために必要な対応策を検討する。
前回の改善計画に対する取組み結果
・利用者が日々の活動でやりたいことが見つけられるように、利用者の興味関心がある内容をシートに記入した。それを活用した為、利用者とのコミュニケーションがとりやすくなった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか?	1	2	1	1	6
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	1	3	1	0	6
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	1	0	5	0	6
④	実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	2	3	1	0	6

分
か
ら
な
い
1
1
1

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・ケアマネとして、日々のかかわりがどのように利用者の良い変化につながったのか、家族から情報を頂き職員に伝えている。 ・介護記録に本人の「当面の目標」が記載している為、それが達成できるように意識して支援している。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・認知症が進んでくると、本人が自己決定をすることが減ってくる為、本人の望む暮らしが何なのか分からなくなる。家族の思いを受け止めると、介護負担の軽減を考慮した支援内容になってしまう。 ・通いや訪問で支援していることが、本人の目標にどのように結びついているのか分かりにくい。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
・利用者が安心して暮らせるよう配慮して支援しているが、「当面の目標」を把握しにくい為、ライフサポートプランの定期見直しの時にはミーティングにて、チームで検討を行う。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 3年11月2日 (17:30 ~19:00)

3. 日常生活の支援

メンバー 6名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)	分らない 1
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	4人	0人	1人	0人	

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の気持ちの変化に合わせて寄り添い、時間をかけて対応する。 ・利用者との地域の関わりを把握し、追加情報があれば更新する。
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> ・不安の強い利用者に対して傾聴し寄り添い、必要と感じた時には訪問を行い支えた。 ・軒下マップの情報の更新をしている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)	分らない 1
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?	0	1	3	1	6	
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	3	3	0	0	6	
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	2	2	0	1	6	
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	3	3	0	0	6	
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	2	3	0	0	6	

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の体調を職員間で共有し、体調に応じた食事内容や形状に変更して提供できた。 ・不安が強く依存心がある利用者に対して、不安軽減が必要と感じつつ、今後も独居生活をしたいと希望している事も考慮し、適度な距離を置いて自立できる部分を残してかかわっている。 	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・自宅での暮らしの様子を、本人や家族から聞き取りする時間がとれない。 ・精神疾患のある利用者からの電話で体調不良の連絡があった時に、本当に訪問が必要なのか、依存心から体調不良を訴えているのか、緊急性があるかの判断が難しい。 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の体調について、職員間でその日の情報の共有を行い、判断がつかない時には訪問を行う。 	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 3 年 11 月 2 日 (17:30 ~19:00)

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 6 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)	分らない 1
①	前回の課題について取り組みましたか?	0 人	3 人	2 人	0 人	6 人	

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の方とのかかわりが継続できるように、本人の暮らしぶりに合わせた外出の支援をする。 ・独居や地域の方の支えが必要な利用者は、福祉委員や民生児童委員との連携を行う。
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の希望を聞き、近所への散歩や町の催しに外出した。 ・独居の利用者が配食サービスを受ける時には、民生児童委員への連絡を行い、見守りの協力を依頼した。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)	分らない 1
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	0	4	2	0	6	
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	0	4	1	0	6	1
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	0	4	0	1	6	1
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	0	3	1	2	6	

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・社会福祉協議会の事業所の利点を生かして、職員が福祉委員会に定期的に参加しているため、独居の利用者の見守りなどで連携をとっている。 ・利用者の思いを聞いた時には、家族にも共有している。 	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の地域との関係性を図式化する軒下マップの活用が出来ておらず、その利用者のかかわる地域の関係性を理解できていない。 	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<ul style="list-style-type: none"> ・軒下マップが職員全員で共有できるよう、ミーティングの時に必要があれば活用し、定期的な更新も行う。 	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 3 年 11 月 2 日 (17 : 30 ~19 : 00)

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 6 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2 人	2 人	2 人	0 人	6 人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> 日々の関わりの中で、利用者や介護者の変化に気が付いた時には、柔軟にサービスを活用してもらえるよう、気軽に泊りサービスなどの追加を提案する。
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> 家族の介護負担の状況を聞いて、泊りの提案を行った。その後定期的に泊りを利用してもらっている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)	分 から な い
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	0	3	1	1	6	1
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	2	2	1	0	6	1
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができますか?	2	3	1	0	6	
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	2	2	2	0	6	

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> 利用者の生活スタイルに合わせて遅い時間に迎えに行ったり、不安により急に帰りたいと希望があった時には、気持ちに寄り添い柔軟に送迎をしている。 	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> 介護負担の軽減が必要な方に、泊りサービスの追加を提案したが、通い中心の事業所に泊まる事を家族が遠慮して、泊りサービスに結び付けられなかった。そのためショートステイができる事業所が変わった。柔軟に利用できることを理解してもらえなかった。 	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<ul style="list-style-type: none"> サービス利用開始の時に、泊り機能の活用について事例を出して分かりやすく伝え、必要な時には遠慮せず利用できるように説明をする。 	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 3 年 11 月 2 日 (17:30 ~19:00)

6. 連携・協働

メンバー 6 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか？	0 人	3 人	1 人	1 人	6 人

分からない
1

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症予防に留意しながら、地域の方が事業所とのつながりが継続できるような内容を検討し実施する。
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> 事業所の行事は感染症予防の為に実施していないが、利用者の歩行練習で近所に出かける時には、地域の方と立ち話をしたり、窓のカーテンを開けて建物の内側の様子が分かるようにし、尋ねてきやすい工夫をしている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	その他のサービス機関 (医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所) との会議を行っていますか？	1	2	0	2	6
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか？	1	1	1	2	6
③	地域の各種機関・団体 (自治会、町内会、婦人会、消防団等) の活動やイベントに参加していますか？	1	2	1	1	6
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか？	1	1	1	2	6

分からない
1
1
1
1

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> 介護保険の更新の時期には、サービス担当者会議を実施し、他のサービス関係機関と連携をとっている。 地域の奉仕作業の時には、職員が参加をしている。 地域包括ケア会議には、担当職員が参加をしている。 	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナ感染症予防の為、事業所の行事が開催できていない。 	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症予防対策を行いながら、地域の方が事業所とのつながりが継続できるような内容を検討する。 	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 3 年 11 月 2 日 (17:30 ~19:00)

7. 運営

メンバー 6 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)	分からない
①	前回の課題について取り組みましたか?	2 人	3 人	0 人	0 人	6 人	1

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者や家族からご意見があれば、職員間で共有し、サービスが利用しやすくなるように改善する。
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の生活歴や体調に合わせて、訪問や送迎時間帯などの配慮を行い、サービスが利用しやすいように対応をした。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)	分からない
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができているか?	1	2	2	0	6	1
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	1	3	1	0	6	1
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	1	3	0	1	6	1
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取り組みを行っていますか?	0	0	4	1	6	1

できている点	<p>200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・意見や苦情があった時には報告を行い、職員間で話し合う時間を作っている。 ・事業所の運営について職員間で意見交換ができている。 ・運営推進会議では、運営推進委員より接遇についてご意見を頂き、改善に努めた。
--------	---

できていない点	<p>200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・調理職員が短時間勤務となり、利用者からの情報収集する時間が減った。食事記録の様式の改善し利用者の感想などを記録しているが、今後の食事に役立てることが不十分である。
---------	--

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<ul style="list-style-type: none"> ・サービス内容についてのアンケートを実施し、利用者や家族の思いを知ることで、より利用しやすくなるよう改善に努める。 	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 3 年 11 月 2 日 (17:30 ~19:00)

8. 質を向上するための取組み

メンバー 6 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2 人	2 人	1 人	1 人	6 人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none">・リモート研修の活用を行い、スキルアップに努める。・新型コロナウイルス感染症予防を徹底し、リスクマネジメントを常に意識して業務にあたる。
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none">・リモート研修の参加をした。・感染症予防に努めた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)	分らない
①	研修(職場内・職場外)を実施・参加していますか	2	4	0	0	6	
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	1	2	2	1	6	
③	地域連絡会に参加していますか	0	2	1	3	6	
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	0	4	0	1	6	1

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none">・感染症予防を考慮し外部研修の参加を控えていたが、内部研修や法人内の介護事業所合同研修には、積極的に参加をした。・個人的にウェブ等により、介護に必要な情報収集を行った。・リスクマネジメントの研修を行っている。介護現場では薬管理に関して職員間で方法等を検討し、誤薬がないようリスクマネジメントに取り組んでいる。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none">・外部の研修は、新型コロナウイルス感染症予防の為に参加ができていない。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<ul style="list-style-type: none">・感染状況によるが、必要と思われる外部研修は積極的に参加する。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 3 年 11 月 2 日 (17 : 30 ~ 19 : 00)

9. 人権・プライバシー

メンバー 6 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0 人	0 人	0 人	0 人	0 人

前回の改善計画	なし
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)	分からない
①	身体拘束をしていない	6	0	0	0	6	
②	虐待は行われていない	6	0	0	0	6	
③	プライバシーが守られている	4	2	0	0	6	
④	必要な方に成年後見制度を活用している	3	2	0	0	6	1
⑤	適正な個人情報の管理ができています	5	1	0	0	6	

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・現在成年後見人制度を利用している方はいないが、研修等で職員は制度について理解する様努めている。 ・成年後見人制度の利用対象と思われる方の関係者に、働きかけをしている。 	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・介護職員専用の事務所がなく、利用者の近くで職員間の引継ぎが行われることがある。利用者が他の利用者の情報を知ることがあった。 	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<ul style="list-style-type: none"> ・職員間の引継ぎでは、周りの状況を把握し、個人名を出さずに引継ぎを行うなど、個人情報を守る様努める。 	

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	美浜町 社会福祉協議会	代表者	乙見康夫	法人・ 事業所 の特徴	古民家を改修した建物で、利用者が落ち着けるような雰囲気づくりを心がけている。利用者一人ひとりの持っている力に応じて、今までと変わらず自宅で暮らせるように、通いや訪問で自立支援をおこなう。また地域住民がサロンの場として事業所を活用したり、催しなどに参加していただくことで、利用者との関係性が築けるように配慮している。事業所の活動や地域住民とのかかわりの様子などは、ブログで紹介し地域福祉の拠点になれるよう努めている。
事業所名	吉右エ門さん家	管理者	野原由美		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・ 地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	0人	0人	2人	0人	1人	1人	0人	3人	0人	7人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・ 結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価 の確認	利用者が望む姿やなりたい自分に近づけるよう、課題となっている原因をさぐり、職員が共通の認識をもちサービス提供をする。	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所評価では、まだまだ改善点があると思われる。個人個人で厳しい評価をしていただきたい。 ・利用している方の評価がわからない。利用者側からの意見を聞くことが大事である。 ・職員が利用者に深くかかわっているのを、家族としてよくわかっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所間の連絡会があれば参加し、情報交換ができると良いのではないかな。 ・評価項目が多すぎるので、大変であるが、日々の業務もおろそかにならないようにしてほしい。 ・評価項目にない数字で現せない部分に対して真摯に対応することも大事である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・利用アンケートを行い、より満足していただけるよう、支援内容の検討を行う。
B. 事業所の しつらえ・環境	事業所の入口が分かる様に、看板を設置する。	<ul style="list-style-type: none"> ・入口の看板は近所のボランティアさんに依頼中で、まだ出来上がっていない。(R3.11.16時点) 	<ul style="list-style-type: none"> ・入口が狭いので、圧迫感があり大きな車で来所するにはためらう。 ・入口に段差があり車で来られる方は、危険があるのではないかな。 ・夜は特にわかりづらいのではないかな。 	<ul style="list-style-type: none"> ・入口の看板はR3.11.27 に設置できた。 ・来訪者に危険がない様、入口の段差が分かるように工夫をする。
C. 事業所と地域のかかわり	地域福祉の拠点として、コロナ禍の現状で困りごとなどの相談が受けられるよう、窓口の周知を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・周知のタイミングや方法の決定ができずに、相談窓口の周知ができていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・住民の方は、まず役場に相談に行くことが考えられる。吉右エ門さん家に介護相談窓口があると周知されていない。 ・住民の方に、吉右エ門さん家をどのような方法で知っていただ 	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者が自宅のある地域の行事等に参加するときには、職員も一緒に参加して、活動状況を知ってもらう機会にする。 ・地域福祉の拠点として、相談等に対応する。

			くか考えないといけない。	
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	新型コロナウイルス感染症の心配がない時期になれば、利用者が希望する外出を支援する。	・少しずつではあるが、町の展示会や食事に出かけている。	<ul style="list-style-type: none"> ・集落のイベント等ができるようになれば、利用者と一緒に職員もぜひ参加して欲しい。 ・吉右エ門さん家で催しができるようになれば、協力したい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・社協職員として、福祉委員会に参加し、支援が必要と思われる住民の方がおられたら、関係機関に繋げる等支援を行う。 ・新型コロナウイルス感染症予防に留意し、利用者が外出できる機会を作る。
E. 運営推進会議を活かした取組み	運営推進会議で、「家族に利用中の様子を見ていただくことで、よりサービスに対しご理解をしていただける」とご意見を頂いた為、家族会でサービス中の動画を見ていただく。	・今年度の家族会で、利用中の様子と、避難訓練の様子の動画を見ていただく予定になっている。	<ul style="list-style-type: none"> ・区長が運営推進委員として会議に参加している為、調整役として、かかわりがしやすいと感じている。 ・今年は獣害被害があり、区長に連絡をし、すぐに対応をしていただけだ。 	なし
F. 事業所の防災・災害対策	職員が少ない時間帯や夜間の避難等を想定した火災訓練を行う。	・今年度は水害被害が多い年だった為、土砂崩れ災害を想定した避難訓練を実施した。区長が参加し誘導の手助けなどをしていただいた。	<ul style="list-style-type: none"> ・長雨が続くときは、事業所を休みにする方向で検討する方が良い。 ・職員は地域の防災訓練にも参加してもらっている。 ・利用中に災害が起これば家族は心配だと思うので、手順書があれば家族に渡すと良いと思う。 	災害時の手順書を作成し、家族に配る。

